

# 投資INSIDE-OUT

Vol. 3

## <投資の裏側>

(INSIDE-OUT=インサイドアウト、隅から隅まで)

### 投資の成功に有用なものとは？投資家の心理学 ～行動ファイナンス③～



「投資INSIDE-OUT」Vol.3では行動ファイナンス③として、引き続き「投資家は必ずしも合理的な判断をする訳ではない」との仮説を検証していきます。

#### ◆割安な店まで車で行くべきか？

①週末の天気予報で、台風の接近により月曜日から大雨になることが分かりました。Aさんは、前から気になっていたおしゃれな長靴(5,000円)が近所の靴屋で売っていたことから、早速買いに行こうと思いました。その後、新聞の折り込みチラシを見ていたら、なんと同じものが、車で5分の靴屋でバーゲン価格の3,500円で売っていました。Aさんは迷わず、3,500円の長靴を求めて車を走らせました。

②次にAさんは、夏を前に冷蔵庫を買い替えようと思い近所の電器店に行きました。158,500円のM社製の冷蔵庫を買おうと決めましたが、一応、持っていたスマートフォンで検索してみると、同じものが車で5分の家電量販店で157,000円で売っていることが分かりました。大した差でもないし、わざわざ車を出すのも面倒なので、Aさんは、158,500円で冷蔵庫を買いました。



上記のようなことはよくありがちなことと思われれます。ただ、同一人物の行動としては、必ずしも合理的でないとも考えられます。①長靴の例では、**5,000円が3,500円の30%引き**でかなりのお得感から車を走らせましたが、②冷蔵庫の例では、**158,500円が157,000円の約1%引き**であまりお得感は感じられません。ただ、どちらも値段の差は一緒で、1,500円のために車を走らせるかどうかということにおいては、実は同じことなのです。



人間の心理が合理的でない判断を引き起こすことは投資においてもおこります。100,000円で買った株が95,000円になったら、非常に損失を受けたように感じます。しかしその後さらに下落し、75,000円から70,000円に下がる局面では、以前よりも心理的なダメージは小さくなります。ただ、これも**同じ5,000円**のはずです。重要なのは、現時点での適正な評価、および将来の見通しを冷静に考えるということになります。



#### 【ご留意事項】

- 当資料は三井住友トラスト・アセットマネジメントが投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。